


整理番号	HT28291	分野	地学・自然	(キーワード)地球環境、水、湿地保全
------	---------	----	-------	--------------------

九州大学

日本及びモンゴルでのラムサール条約登録湿地での環境変動を探る

先生(代表者)	鹿島 薫(かしま かおる)大学院理学研究院・准教授			
自己紹介	地球環境の変動を明らかにするため、世界各地で調査を行っています。特に、湖や湿原の堆積物を用いて、古代遺跡と水資源の関連、砂漠化の進展などについて、古生物的手法を使って、明らかにしてきました。日本国内のほか、モンゴル、エジプト、トルコなどの湖や湿原の調査を進めてきました。			
開催日時・ 主な募集対象	平成 28 年 7 月 30 日(土)	(対象)	小学 5・6 年 生、中学生、 高校生	(人数) 25名
集合場所・時間	九州大学理学部正面玄関	(集合時間)	午前 9 時 30 分	
開催会場	九州大学大学院理学研究院地球惑星科学教室 住所: 〒819-0395 福岡市西区元岡744 アクセスマップ: http://www.sci.kyushu-u.ac.jp/html/map/map.html			
内 容				
<p>皆さんはラムサール条約という名前を聞いたことがありますか？湖、湿原、干潟などの環境を保全する条約で、日本でも46箇所が指定されています。なぜ、水に浸されたこれらの環境が我々の生活を守るために重要なのでしょうか？そこにはどのような生物が生きており、その環境はどのように変わってきたのでしょうか？ここでは、湖、湿原、干潟の土を使って、生物・化石を指標として、環境の変化を調べていきましょう。</p> <p>日本国内やモンゴルで採取されたラムサール条約登録湿原や湖沼の堆積物が、九州大学大学院理学研究院地球惑星科学教室にはたくさん収蔵されています。それを用いながら、顕微鏡を使って、目に見えないほど小さな化石を観察していきます。1mmの百分の一という小さな化石たちですが、宝石のように、とても美しい化石です。ひと目見ると、みんな好きになってしまいます。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
9:30~10:00 受付(理学部 W1-C-201 教室)			筆記用具	
10:00~10:15 ガイダンス(科研費の説明を含む)			ノート	
10:15~11:00 地球環境の変動(スライドとビデオによる解説)			お昼のお弁当	
11:00~11:15 休憩			特 記 事 項	
11:15~12:00 湖や湿原の地層の特徴を見てみよう			顕微鏡を使った観察があります。視覚などに障害がある生徒に対しては、十分に配慮できますので、事前にご連絡ください。	
12:00~13:00 休憩(昼食)				
13:00~14:30 湖や湿原の地層の中から化石を見つけてみよう(実習)				
14:30~14:45 休憩				
14:45~15:45 湖や湿原の地層の環境を復元してみよう(実習)				
15:45~16:15 アンケート・未来博士号授与式				
16:15 終了				

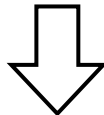
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門・鹿島 薫
住所：	〒819-0395 福岡市西区元岡 744
TEL 番号：	092-802-4243（鹿島）、092-802-4209（事務室）
FAX 番号：	092-802-4208
E-mail：	kashima@geo.kyushu-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年7月23日（土）

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
鹿島 薫	H20-H23	基盤研究 A (海外学術調査)	20251002	最終氷期以降の地球規模の気候変動事変に伴う古代遺跡周辺の水文環境の変動
鹿島 薫	H24-H26	基盤研究 C	24501291	湖沼の年縞堆積物を用いた古環境の高精度復元
鹿島 薫	H28-H31	基盤研究 A (海外学術調査)	16H02712	ダストフラックス長期変動に寄与する人為的 影響の定量的評価



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。